

戦略計画

2015～2018 年

国際パラリンピック委員会の戦略的展望

参考訳

英語原文と和訳との間で齟齬が生じた場合は
原文が優先されますので、原文も併せてご参照ください。
2016年5月27日、（公財）日本障がい者スポーツ協会
日本パラリンピック委員会（Ver. 0.5）



目次

会長メッセージ.....	4
国際オリンピック委員会会長メッセージ.....	6
国際連合メッセージ.....	7
パラリンピック・ムーブメント.....	9
IPCの部門.....	10
統治組織としての国際パラリンピック委員会（IPC）.....	11
IPCの目標、ビジョン、価値.....	14
戦略の枠組み.....	15
戦略上のゴールーパラリンピック競技大会を最高のスポーツイベントとして 成し遂げる.....	16
戦略上のゴールーパラアスリートを支援し、パラスポーツを発展させる.....	20
戦略上のゴールーパラリンピック・ブランドの認知度と価値を向上させる.....	24
戦略の推進要因ー持続可能な資金を確保する.....	28
戦略の推進要因ー組織力を先鋭化する.....	32
戦略の推進要因ー戦略的パートナーシップを育成する.....	36

Dear Readers,

2014年、国際パラリンピック委員会（IPC）は設立25周年を迎えましたが、パラリンピック・ムーブメントを通して、比較的短い期間で多大な業績を挙げてきました。また同年には、すべての分野で進展を果たした2011～2014年戦略計画が完成しました。このような成功に満足することなく、私たちは前進します。

アスリートが主役の組織として、IPCは、今日のアスリートが未来のリーダーとなり、自身の運命を切り拓くことを願っています。進化を続けるスポーツ界において、さまざまな課題を克服し、多くの機会を活用すべく、私たちはアスリートと共に道を切り拓いていかなければなりません。

IPCが今後も発展するためには、今や世界で3番目に大きなスポーツイベントとなっているパラリンピック競技大会の成功を成し遂げると同時に、国際オリンピック委員会（IOC）との関係強化を図ることが極めて重要です。

初級からトップレベルまで、パラスポーツ参加を増やし、各国のアスリート層拡大を図る必要があります。それと同時に、女性アスリートおよび特別な支援を必要とするアスリート人口を増やす必要があります。このようなプロセスを支援すべく、Agitos Foundationは、特に開発および財政支援を最も必要としている国々やスポーツを対象に、さまざまなプログラムを運営しています。

今日、IPCならびにパラリンピック・ムーブメントは最良の機会を提供する立場にあります。しかし、財政的な持続可能性を実現しなければなりません。既存の収益源からの資金調達拡大を図り、向上するパラリンピック・ブランドの商業的魅力を活用した新たな機会を模索することで、評価や関心の高まりを最大限に活かさなければなりません。

パラスポーツの特徴であり、アスリートに直接影響するクラス分けから、日常業務の進め方にいたるあらゆる事柄を網羅するIPCのガバナンス向上を今後も図ることが不可欠です。

本ストラテジック・プランがすべてのステークホルダーならびにサポーターの皆さんの指針かつインスピレーションの源となり、IPCのビジョンである「**パラアスリートが、スポーツにおける卓越した能力を発揮し、世界に刺激を与え興奮させることができるようにすること**」の実現に向けて、ご支援ならびにご協力いただくことを期待しています。

IPC理事会ならびにIPC本部ともども、今後4年間の成功に向けてみなさんと連携すると同時に、次の25年におけるスポーツの卓越性の基礎を築き、目標を達成することを願っています。

Philip Craven

国際パラリンピック委員会
会長
サー・フィリップ・クレイヴァン





国際オリンピック委員会（IOC）と国際パラリンピック委員会（IPC）は、共にアスリートの支援、前向きな価値観の推進、差別の打破、スポーツへのアクセス向上、そしてより良い世界への貢献というコミットメントを掲げています。これらの目標と価値観を共有しながら、IOC と IPC は 15 年にわたるパートナーシップを築いてきました。

2000 年には、オリンピック競技大会とパラリンピック競技大会の同一都市開催を決定し、統合を進め、メリットを最大限に活かすべく、連携を図ってきました。ロンドンパラリンピック競技大会はまさに、IOC と IPC の素晴らしいコラボレーションを体現しました。

また、ソチパラリンピック冬季競技大会では、アスリートの卓越したパフォーマンスに、これまでで最高の観客動員数と世界的なテレビ視聴者数を達成し、認知度向上とインクルージョンの促進を実現する最善の機会となりました。

これまでの実績は、IOC と IPC 双方に、スポーツの未来を築く絶好の機会をもたらすでしょう。

IOC は、オリンピック・ムーブメントの未来に向けた戦略的ロードマップとなる、オリンピック・アジェンダ 2020 を採択しました。同アジェンダの策定には、IPC にも精力的にご参加いただきました。IPC の貢献は、オリンピック・ムーブメントの助けとなるでしょう。

一方、IPC のストラテジック・プランも、これまでの実績を前向きな変化への基盤とする、積極的なロードマップです。IPC の設立 25 周年直後という絶好のタイミングで発表された同プランでは、今後の優先課題が明確に示されています。

自信そして明確なビジョンを持って未来に目を向けながら、障がい者、健常者を問わず、すべてのアスリートに利益を供し、世界の人々を鼓舞し、世界をより良くすべく、IOC と IPC は引き続きパートナーシップと連携の強化を図ります。

国際オリンピック委員会
会長 トーマス・バッハ



パラリンピック・ムーブメントは、スポーツを通じたインクルーシブで多様性のある社会の創造というミッションにおいて、インテグリティとインスピレーションという世界観を表現しています。パラリンピックスポーツや競技会を通して、障がいとともに生きる人々の生活に変化をもたらし、多くの人々や国々に大きな影響を与えてきました。

ひたむきなアスリートの姿は忍耐と勇気を物語り、社会の効果的なロールモデルとなることが証明されました。差別と社会的障壁のない平等な社会の構築を支援し、受容し、高く評価し、そして人間の潜在能力に到達できる人生を実現すべく、アスリートたちは計り知れない努力を重ねてきたのです。

近年、IPC は社会の向上において、いろいろな意味で不可欠な役割を担っています。Agitos Foundation をはじめとするさまざまなイベントやプログラムを通して、国際社会全体でパラスポーツという文化ならびにスポーツの卓越性の発展を称えてきました。過去 2 回のパラリンピック競技大会では、世界中のアスリートの並外れた気力とエネルギーが示されました。

国際連合事務総長の潘基文（パン・ギムン）は、パラリンピック・ムーブメントの熱心なファンかつ強力なサポーターであると同時に、障がい者の権利向上、健康的な生活の促進、そして社会的統合の実現に向けた取り組みを称賛しています。実際に、インクルーシブな社会の実現におけるスポーツの役割を盛り込んだ、国連障害者の権利条約への対応で、パラリンピックは積極的な役割を担ってきました。国連事務総長特別顧問（開発と平和のためのスポーツ担当）として、パラリンピック・ムーブメントは私自身の優先課題であり、障がいのある人々がより明るい未来へ向かって、持てる能力と権利を存分に発揮できるよう支援できることを光榮に思います。

障がいの有無を問わず、すべての人々が共に活躍できる世界へと変化をもたらすべく、これからも IPC と一緒に取り組んでいきたいと思えます。

国連事務総長特別顧問（開発と平和のためのスポーツ担当）
ウィルフリード・レムケ





パラリンピック・ムーブメント

パラリンピック・ムーブメントは、すべての人々に平等な機会があるより良い世界の実現に貢献するとの信念に基づいて、グラスルーツからエリートにいたるすべてのパラアスリートにスポーツ機会を提供しようとする人々や団体のネットワークです。

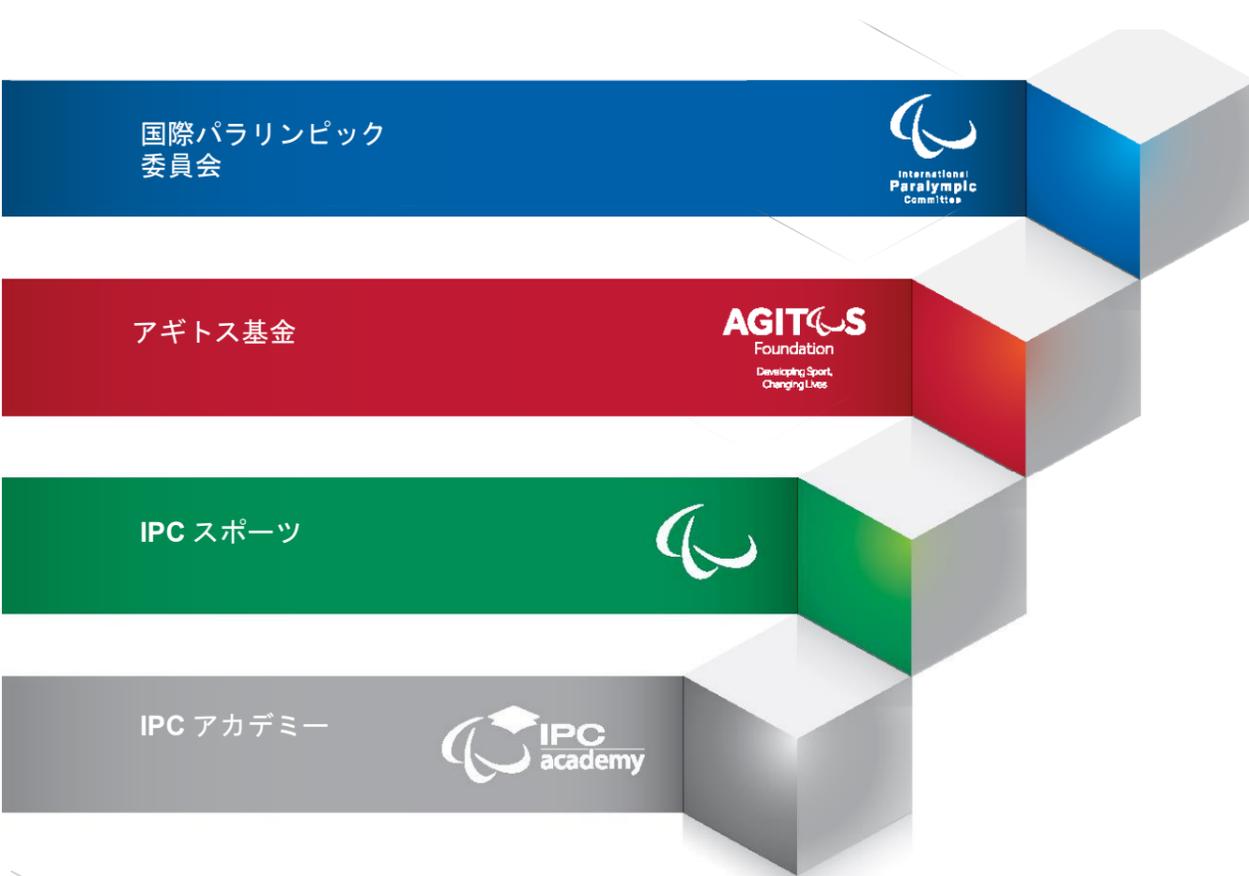
パラリンピック・ムーブメントを構成するのは4つのコアバリュー、すなわちカーリッジ（勇気）、デターミネーション（決意）、インスピレーション、そしてイクオリティ（平等）です。

このような共通のパラリンピック・ムーブメントの価値観は、以降で紹介するビジョンにも反映されています。同ビジョンは、多様なメンバーによって展開されるさまざまな取り組みに向けた力強いメッセージと動機を表しています。

パラリンピック・ムーブメントは、各国のパラリンピック委員会（NPC）、各スポーツの国際競技連盟（IF）、地域組織（RO）、障がい別国際スポーツ組織（IOSD）など、さまざまな視点や背景のメンバーで構成されます。

これらのメンバーが果たす義務と責任は、パラリンピック・ムーブメントの基本的な基準文書かつ枠組みであるIPCハンドブックにまとめられています。

IPC の部門



統轄組織としての国際パラリンピック委員会 (IPC)

IPC は、1989 年 9 月 22 日、ドイツのボンに設立された国際非営利組織です。理事会、本部、ならびにさまざまな常任委員会と評議会で構成されています。

IPC はパラリンピック・ムーブメントをリード、推進し、IPC ハンドブックに規定された責務が適切に遂行されるようにします。これには、パラリンピック競技大会（冬季競技大会を含みます）組織の管理、ならびに 10 競技の IF としての役割が含まれます。

2012 年 8 月、IPC の開発部門として設立されたアギトス基金は、パラスポーツの振興を目的とする世界で唯一の慈善組織です。

IPC の教育部門である IPC アカデミーは、World Academy of Sport (WAOs) と連携し、パラリンピック・ムーブメントにおけるスポーツの教育水準向上を目指します。





価値
カーリッジ (勇気)
デターミネーション (決意)
インスピレーション
イクオリティ (平等)

推進要因
資金調達/組織/パートナーシップ
価値

ゴール
競技大会/アスリート/ブランド
推進要因
価値

ビジョン
パラアスリートが、スポーツにおける卓越した能力を発揮し、
世界に刺激を与え興奮させることができるようにすること
ゴール
推進要因
価値

目標
パラスポーツを通じて障がい者にとって
インクルーシブな社会を創出する
ビジョン
ゴール
推進要因
価値

IPC の目標、ビジョン、価値

パラリンピック・ムーブメントの究極の目標：

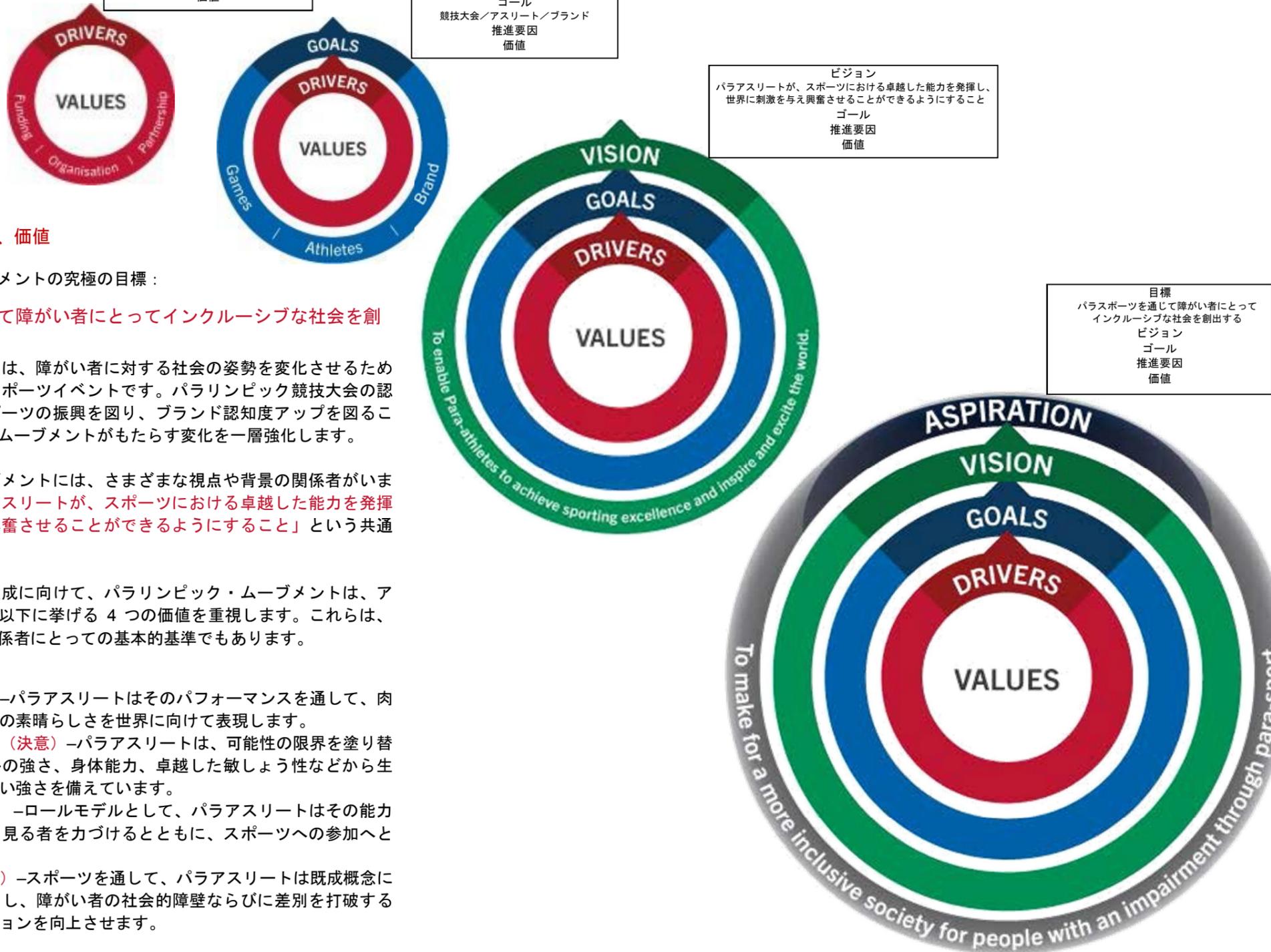
「**パラスポーツを通じて障がい者にとってインクルーシブな社会を創出する**」

パラリンピック競技大会は、障がい者に対する社会の姿勢を変化させるための、世界で最も適したスポーツイベントです。パラリンピック競技大会の認知度を拡大し、パラスポーツの振興を図り、ブランド認知度アップを図ることで、パラリンピック・ムーブメントがもたらす変化を一層強化します。

パラリンピック・ムーブメントには、さまざまな視点や背景の関係者がいますが、そこには「**パラアスリートが、スポーツにおける卓越した能力を発揮し、世界に刺激を与え興奮させることができるようにすること**」という共通のビジョンがあります。

このようなビジョンの達成に向けて、パラリンピック・ムーブメントは、アスリートを主役に据えた以下に挙げる 4 つの価値を重視します。これらは、すべてのパラスポーツ関係者にとっての基本的基準でもあります。

- **カーリッジ (勇気)** →パラアスリートはそのパフォーマンスを通して、肉体的限界に挑むことの素晴らしさを世界に向けて表現します。
- **デターミネーション (決意)** →パラアスリートは、可能性の限界を塗り替えるほどのメンタルの強さ、身体能力、卓越した敏しょう性などから生みだされる比類のない強さを備えています。
- **インスピレーション** →ロールモデルとして、パラアスリートはその能力を最大限に発揮し、見る者を力づけるとともに、スポーツへの参加へとかき立てます。
- **イクオリティ (平等)** →スポーツを通して、パラアスリートは既成概念に挑み、変化をもたらし、障がい者の社会的障壁ならびに差別を打破することでインクルージョンを向上させます。



戦略の枠組み

戦略の枠組みを策定、検討するにあたり、IPCの活動の中心となる3つのゴールを設定しました。これらのゴールはIPCの目標と価値を具現化すると同時に、IPCの組織としての本質と存在意義を示しています。

- パラリンピック競技大会を最高のスポーツイベントとして成し遂げる
- パラアスリートを支援し、パラスポーツを発展させる
- パラリンピック・ブランドの認知度と価値を向上させる

これら3つのコアとなるゴール達成の推進要因として、より戦術的な多くの活動が必要です。以下に挙げる3つのドライバーも、IPCがそのミッションと中核事業を展開する上で欠くことのできないものです。

- 持続可能な資金を確保する
- 組織力を先鋭化する
- 戦略的パートナーシップを育成する

これら2つの異なったコアとなるゴールと戦術的なドライバーは独立したものではなく、相互に促進および依存する関係にあります。このような相互関係には、異なるゴールとドライバーとして、並列した考えや概念を伴いますが、これらは重複ではなく、補完的な関係にあると捉える必要があります。

各ゴールを支える戦略と推進要因は、戦略的な優先課題として位置付けられます。これらは、本プランにおける具体的な焦点と活動領域を示したものです。目的と重要な対策を特定することで、IPCのパフォーマンスと成果の計測に有用なターゲットを設定出来ます。



Strategic goal

戦略上のゴール

Consolidate the Paralympic Games as a premier sporting event

パラリンピック競技大会を最高のスポーツイベントとして成し遂げる

パラリンピック競技大会のスポーツの卓越性、世界的な認知度、社会的な足跡の促進

パラリンピック競技大会は、スポーツに関わるすべての人にとっての憧れです。パラリンピック競技大会は、世界トップレベルのパラアスリートとパラリンピック精神の求心力を示し、パラアスリートのパフォーマンスを目の当たりにするすべての人々を啓発するとともに感動を与えます。

IPC 主導の下、パラリンピック競技大会は、すべてのパラリンピアンに実現しうる最高の舞台を提供すると同時に、すべてのステークホルダーに、魅力的であり、バランスのとれた高度に競争的なスポーツプログラムとイベント体験を提供することを目指しています。

世界の 5 大陸から集うアスリートが、観衆で溢れる会場で競い合い、その模様が世界中にテレビ中継されます。このような世界的波及は、パラリンピック競技大会がより高い社会意識に向けた触媒として作用し、すべての人々に対する敬意と平等な機会のある、より公平な社会の創出に貢献します。

競技大会の管理という立場から、各パラリンピック競技大会の運営、効果ならびにレガシーのさらなる向上を図るべく、IPC は競技大会組織委員会（OCOG）を指導、支援します。

戦略的な優先課題

高度かつ分かりやすい競技で構成されるバランスの取れた魅力的なスポーツプログラムにより、パラリンピック競技大会の魅力を一層高めます。

NPC、IF、メディア、スポンサー、観客等の主要なステークホルダー及びクライアントとの連携を促進することで、厳格かつ透明性のあるスポーツ、種目、競技の選定を行い、魅力的な競技形式と感動を呼ぶスポーツのプレゼンテーションを実現します。

レガシーと社会的影響の機会を最大限に活かし、商業的潜在力を活用することで、パラリンピック競技大会の価値を高めます。

パラリンピック競技大会の比類ない価値をより良く紹介することでその商業的価値を一層高め、放送権を管理することで放送制作物に対して強い影響力を保持します。

リオ 2016、ピョンチャン 2018、東京 2020 競技大会を通じて、パラリンピック競技大会の世界すみずみへの浸透を図ります。

放送や新たなメディアについて、とりわけ主要地域（特に米国）でのブランド認知度向上を図り、これら 3 つのパラリンピック競技大会の世界的浸透を最大限に高めます。

パラリンピック競技大会の既存のノウハウや、IOC、IF、NPC との良好な関係を活用して、OCOG との効果的な連携を強化します。

持続可能な競技大会管理方法について IOC との連携をさらに深め、堅実かつ着実なプロセス、体制、専門スタッフ、ボランティアを通じた、IF および NPC の高度な管理を確立します。

目標とする成果

- パラリンピック競技大会の成功と観客誘因
- メディアを通じたアスリート認知度の向上
- 大会組織委員会と連携した大会運営の向上



Strategic goal

戦略上のゴール

Empower para-athletes and support the development of para-sports

パラアスリートを支援し、パラスポーツを発展させる

グラスルーツからエリートまで、パラアスリートの機会を拡大および強化し、環境の質向上を図るとともに、引退後の支援を提供します

IPC は、その開発部門であるアギトス基金と連携を図り、パラスポーツの増進と発展を図り、障がいのある人々への機会を確保します。

公正なスポーツ競技会に参加し、優れた能力を発揮することに関するパラアスリートの関心、重要性、機会は、IPC の最大関心事です。IPC は、パラリンピック・ムーブメントのすべてのスポーツが、パラアスリートの健康を守り、フェアプレーと倫理を尊重する方法で行われ、IPC の倫理規程、世界アンチ・ドーピング規程、IPC クラス分け規程、IPC 医療規程の遵守が図られるようにします。

IPC は、クラス分けをアスリート・パスウェイの基礎と捉え、クラス分けが証拠に基づき健全かつ誰にも理解できるようにします。さらに IPC は、該当する統轄組織の指導および管理にパラアスリートが参加する機会を義務づけており、IPC メンバーに対しても同様の対応を推奨しています。これは IPC が、アスリートの声を IPC およびパラリンピック・ムーブメントの中心に置くことの重要性を認識していること、ならびに引退後のキャリア支援を目指しているからに他なりません。

戦略的な優先課題

グラスルーツからパラリンピックレベルに至るアスリート・パスウェイの継続的な発展を通して、パラスポーツにおけるアクセスと機会の向上に向けたリソースを確保します。

女性および特別な支援が必要なアスリートの参加促進、NPC の組織能力構築プログラムの立案と実施などの取り組みを通して、世界のすべての地域で参加を拡大します。

公正かつ分かりやすい競技の条件として、方針、手続き、証拠に裏付けられた、健全なスポーツ別クラス分けを実現します。

アスリートを中心としたクラス分けプロセス、手続きおよび方針を策定し、国内および国際レベルで積極的にクラス分けに関する情報発信を行い、理解、受け入れおよび支援を確保します。

パラアスリートが現役中のみならず引退後のキャリアでもその能力を存分に発揮できるよう、支援を行います。

すべての段階でパラアスリートを支援すべくガイダンスやリソースを提供すると共に、パラリンピック・ムーブメントの活動に、より多くの現役および引退後のパラアスリートが関与できるようにします。

パラリンピック・ムーブメントにおいて、パラアスリートの健康を守り、パラアスリートのニーズに対応し、かつフェアプレーと倫理を尊重する方法でスポーツが行われるようにします。

詳細な情報の提供や医療に関する方針や基準を設定することでパラアスリートの健康に関する認識を高め、適切なアンチ・ドーピング体制を整えます。

目標とする成果

- グラスルーツからエリートの全てのレベルでのパラスポーツの増進
- 全てのパラアスリートへのキャリア・パスウェイ支援
- 各種ルール、規程の遵守向上



Strategic goal

戦略上のゴール

Improve the recognition and value of
the Paralympic brand

パラリンピック・ブランドの認知度と価値を向上させる

パラリンピック・ブランド、社会的影響と商業的価値の拡大

パラリンピック・ブランドは、能力の発揮と卓越性の追求に向けたパラアスリートの注力と、パラリンピック・ムーブメントの価値であるカーリッジ（勇気）、デターミネーション（決意）、インスピレーション、そしてイクオリティ（平等）で構成されます。パラスポーツを目にした誰もが、スポーツと社会意識の関連に気づきます。主要な地域への国際的な浸透を拡大し、競技大会期間外のブランドの影響を強化することで、パラリンピック競技大会の勢いを増すことが極めて重要です。世界および地域レベルのパラスポーツの選手権への注目が高まる中、これらを、パラリンピック・ブランドが輝きを放てる場へと発展させる必要があります。このようなビジョンには、パラリンピック・ブランドに由来する商業機会の明確化が含まれます。その独自性は IPC、そしてより広義にパラリンピック・ムーブメントのみならず、スポンサー、メディアならびに政府機関に多大な効果をもたらすでしょう。

戦略的な優先課題

世界中、とりわけ主要地域において、さらなる理解、着実な使用、露出、認知および共感を確保するための長期的なブランドビジョンを策定ならびに実施します。

ブランドの独自性を生み出す要素を守り、発信し、パラリンピック・ムーブメントの際立った価値、行動そして精神を示すと同時に、ブランド認知度と精神的共有の向上を図ります。

パラスポーツと主要イベント、1年365日のトップパラアスリートの資質、人物像、認知および認知度の向上に向けた戦略を策定、実施します。

パラリンピック競技大会以外のすべてのパラリンピックスポーツイベントの質向上を図るとともに、Paralympic.org を世界的パラスポーツニュースのナンバーワンサイトとして確立すべく、デジタルメディア戦略を実施します。

目標とする成果

- 広くあまねく認知されるブランドのさらなる構築とブランド資源による収入増
- パラリンピック競技大会開催期間以外でのブランド認知度向上



Strategic driver

戦略の推進要因

Build sustainable funding

持続可能な資金を確保する

既存の収入源と、パラリンピック・ムーブメントの資産の魅力を活用した新たな機会により、持続可能な資金調達を実現します。

IPC の主要優先事項は、増加するイベントと IPC 組織とリソースに対するそれらの影響に対応するための持続可能な収入源を確保し、IPC のブランド資産によって大きな収入を創出することです。IPC はまた、良好な商慣行という側面で、パラリンピック・ムーブメントとの商務知識の共有において重要な役割を担います。スポーツを取り巻く経済環境が厳しさを増す中、新たな手法で収入を確保することが求められます。

戦略的な優先課題

ターゲットを絞り込み、長期にわたる世界規模の連携を通して収入を拡大し、さまざまな市場におけるパラリンピック・ブランドのより良い評価に基づき、IPC 資産のより賢明な価格設定によって収入の最大化を図ります。

分析主導のブランド評価を実施し、IPC と活動するオリンピックパートナー（TOP）および国際パートナーの数を増やし、アセットの商品化ならびに NPC およびパラリンピック・ムーブメント全体のプログラムに関連するさらなる収入機会を開拓します。

長期的な財政的持続可能戦略の一環として、放送権販売による商機の最大化と共に、放送コンテンツ制作コストの削減を図ります。

放送権の管理を拡大し、パラリンピック・ブランドの世界的な認知度向上に向けた、新たな放送事業計画を実施します。

コスト意識の向上、経費管理、および運営コストの最適化によって、IPC の活動全般にわたる価値の増大を図ります。

調達基準の整備と、より着実な資金・コスト管理の実施により、IPC 収入のより有益な活用を進めると同時に、各種大会組織委員会の価値意識向上を図ります。

目標とする成果

- パラリンピック・ムーブメントにわたるブランド価値向上と商務知識改善による収入増
- 放映権収入と放送コンテンツ制作コストのバランス化による利益確保
- コスト意識向上による IPC 運営財政の最適化



Strategic driver

戦略の推進要因

Shape organisational capability

組織力を先鋭化する

積極的かつ効率的な業務環境を創出し、パラリンピック・ムーブメントに従事するすべての人のスキル最大化を図ります。

組織、管理体制ならびに人材は、本戦略計画の意欲的な目標実現に向けた IPC の能力を確保する上で非常に重要な要素です。これまでに IPC は人材の強化、事務局体制の適応やより綿密な計画立案など、さまざまな取り組みを展開してきました。IPC を、効率的な業務環境と加盟団体に対する最善のサービスを備えた組織と位置付けることで、リスクを抑えつつ、ダイナミックなスポーツ環境の下で業務を展開し、機会を特定する能力の向上を図ります。そのためには、革新的な技術的ソリューション、健全な業務プロセス、そして IPC 本部と加盟団体のスキルおよび専門知識の向上と最大化が必要です。

戦略的な優先課題

多様性の尊重とプロとしての高い可能性のある、すべてのスタッフに卓越性の追求に向けた機会が提供される IPC スタッフコミュニティを構築します。

採用、教育、リーダーシップおよびマネージメントにおける卓越性の向上を図り、より多様で積極性のある、優秀な IPC スタッフを育成すると同時に、優秀な人材を集め、保持する雇用者としての IPC の独自性を促進することで、雇用者としての評価を高めます。

IPC スポーツのさらなる発展と長期的な持続可能性を実現すべく、助言と支援を提供します。

進捗状況、失敗のリスク、持続可能性の程度を評価するための測定システムを開発および実施し、対象を絞り込んだスポンサーシップ、資金調達ならびに放送を通して、IPC スポーツの資金調達機会を拡大します。

パラリンピック・ムーブメントの先頭に立つ組織として能力を高め、優れた業務慣行を実現します。

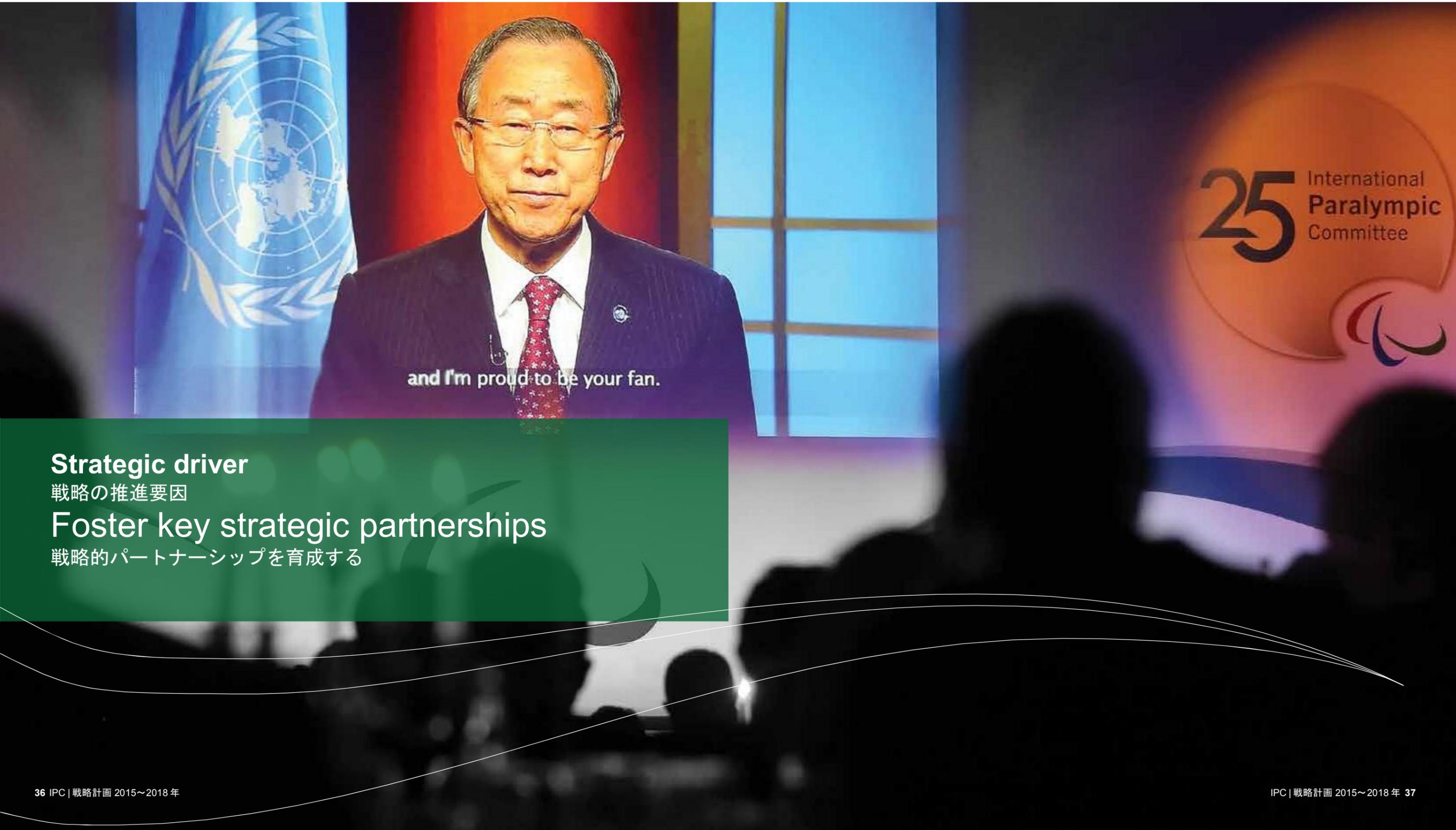
新しい技術に適応し、新しい考え方を受け入れ、協調的な文化を促進し、そして証拠に基づく意思決定環境を創出する学習組織を育成し、リーダーシップと能力管理を支援します。定期的に手順の見直しを行い、管理システムと報告ツールの可用性および適用を更新し、パフォーマンスとリスク管理を構築します。

パラリンピック・ムーブメントにおける最善の成功事例を推奨し、知識共有と専門的教育によって加盟団体の能力向上を図ります。

IPC 主導の知識ネットワークツールの構築を通して加盟団体のコミュニティを創出し、経験の共有を図るとともに、能力向上を支援します。また、研究に基づく学習を活用して、成功事例の基準を確立し、パラリンピック・ムーブメント全般にわたり共有します。

目標とする成果

- IPC および加盟団体の今後のニーズに応えるための業務力と業務品質の向上
- 最新技術導入による業務環境の改善
- 持続可能なスポーツ指導力の強化



and I'm proud to be your fan.

25 International Paralympic Committee

Strategic driver

戦略の推進要因

Foster key strategic partnerships

戦略的パートナーシップを育成する

パートナーシップ精神によるパラリンピック・ムーブメントの発展

協調的なパートナーシップは IPC 戦略の重要な要素であり、戦略的目標達成の助けとなります。このような関係は、パラリンピック・ムーブメントのさらなる発展に向けたシナジー効果と、リソースの有効利用をもたらします。IOC とのパートナーシップは、常に IPC の発展、とりわけパラリンピック競技大会の発展における重要な要素です。IPC と IOC の関係の歴史と深さを通して、これまでにさまざまな利益がもたらされてきました。そしてこれらかも、相互利益の向上が見込まれます。国連との関係も重要です。「国連の障害者の権利に関する条約」は IPC の活動目的に対しての注意を促し、活動を支持しているが、この国連との関係も極めて重要と言える。さらに、IPC は、スポンサー、政府機関や他の国内および国際機関などの外部パートナーとの関係、ならびに加盟団体間のパートナーシップに注力し、活用することを目指します。

戦略的な優先課題

成熟した関係とこれまでの経験を基に、IOC およびオリンピック・ムーブメントとのパートナーシップの潜在的可能性と連携の機会を活用します。

高まりを見せるパラリンピック競技大会の信頼性を基に、IOC とより強固な関係を構築し、パートナーシップ協定の下、相互利益と価値の向上を実現する、新たな機会と活動を特定します。

相乗効果や共通のビジョンに基づく企業との連携を通して、戦略上のゴールの達成に向けた IPC のさらなる能力向上を図ります。

既存パートナーとの関係を強化し、IPC ビジョンと戦略的目標の理解促進を図るとともに、パラリンピック・ムーブメントのアスピレーションに一致したパートナーシップ利益の明確な理解を確立します。

パラリンピック・ムーブメント内で、共通の戦略的意図や方向性に基づく連帯感を醸成します。

加盟団体と各種機関、団体、政府機関等との関係促進を図り、IPC の戦略計画と戦略的な優先課題の策定と実施を推進します。

国連、非政府組織 (NGO)、政府組織、大学および研究機関などの他の団体と提携し、スポーツを超えたパラリンピック・ムーブメントの価値を拡大します。

目標の実現と信頼性と影響力のさらなる向上に向けて IPC を支援してくれるパートナーシップ数を拡大すると同時に、障がいのある人々のインクルージョンと平等の権利を支持するネットワークを構築し、パラスポーツと IPC の主導的役割の認知向上を図ります。

目的とする成果

- IOC との相互尊重のパートナーシップの継続
- ビジョンの共有による企業との連携強化
- パートナーシップを通じた社会的信用度の向上



IMPOSSIBLE

画像

© 写真提供

Getty Images (p. 1/2/6/11/14/18/22/26/34/38), IPC (p. 5), Keystone (p. 7),
Luc Percival (p. 8), ITTF (p. 12), Joachim Radtke (p. 30)



Paralympic.org

国際パラリンピック委員会

Adenauerallee 212-214
53115 Bonn, Germany

電話: +49 228 2097-200

Fax: +49 228 2097-209

info@paralympic.org

www.paralympic.org

© 2015 International Paralympic Committee - ALL RIGHTS RESERVED